

住まいづくりは幸せづくり

今月の写真



市原市 築300年経過したW邸



市川市 古い商家M邸



成田市 成田山表参道 昭和12年建築
望楼のある建物 「大野屋旅館」



香取市 旧三菱銀行佐原支店 大正3年建築

ひとりごと

ニュースレター woody-akiba

新築への思いも古民家再生への思いも基本は同じです。いかに、長寿命の住まいをつくるか、そのために大切なことは何か、長寿命にするためには古民家が最大のヒントになっていることは間違いありません。

技術的には新築・再生どちらからの視点でも同じものが見えてきます。それは、素材・技術に重点を置き、そして最後に、自然や風景に溶け込んだ美しい建物であること。流行にとらわれれば、建物は時代とともに視覚的に陳腐化してしまいます。そこに、伝統を踏まえることの大切さがあります。飽きのこない普遍的な美しさが建物への愛着につながり、世代を越えて住み続けられるのだと思います。

いかに古民家再生とはいえっても古い家を古めかしく修復するつもりはありません。あくまで生活の場ですから、快適な設備や暮らしやすさの考え方は現代の感覚を取り入れるのはいうまでもありません。暗くて、重厚な印象をもつ建物を明るく、軽快な印象に変えていく。その違いは劇的なものです。

100年まえには想像できなかったことがあります。それは、住まいの快適さ住宅設備の清潔さ、あらゆるところで急激な進歩がありました。それらを利用しながら、美しい日本の住まいをつくっていきたいと思います。 平成22年秋 秋葉 忠夫

玉造の家 基礎工事から上棟作業まで



1.基礎 配筋の状況



2.基礎が完成しました



3.追っ掛け大柱継ぎの登梁が並ぶ



4.桁に登梁が乗る、渡りあご



5.整然と並ぶ登梁



6.施主様による儀式、大柱打ち込み

基礎工事、そしてこのような軸組み作業を経てさまざまな職人たちの仕事によって住まいは完成していきます。

私たちの家づくりへの思い、それは工業生産品への行き行き過ぎた依存をやめ、住まいづくりの主役を再び、人の手に取り戻したい、ということです。

発行者 秋葉建設株式会社 秋葉 忠夫
〒289-2163 千葉県匝瑳(そうさ)市南神崎52-1
電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824
URL <http://www.woody-akiba.com>
Email master@woody-akiba.com